

N I Eを活用した，課題意識をもち，追究する生徒の育成

新潟市立大江山中学校

1 学校の概要

新潟市立大江山中学校(校長:田村明彦, 生徒数 170 名)昭和22年5月20日, 中蒲原郡大江山村立大江山中学校として開校した。教育目標は「めあてを持ち 鍛え 高め合う生徒～知性 気力 協力～」であり, 主体的に学ぶ生徒, 他者と共に高め合う生徒, 心身ともにたくましい生徒になることを重点に置き, 保護者・地域・校区小学校と連携を取りながら, 教育活動の充実を図っている。

学習意欲を喚起し生徒が主体的に学ぶ授業を行い, 支持的な風土づくりを通して豊かな人間性を育て, 健康的な生活習慣の確立と体力の向上に努めている。そのため, 諸活動において大らかに伸び伸びと自分を表現する生徒が多い。

2 N I E実践のねらい

本校では今年度の研究主題を『生徒の「主体的・対話的で深い学び」を生み出す授業づくり』とし, 自ら課題を見出し, 追究していけるような生徒の育成を目指している。

これを受けてN I Eでは, 生徒に以下の力を身につけさせたい。

(1) 「なぜ, どうして」に気づく力

様々な情報をインプットしていく中で, 社会への関心をもち, 疑問を感じていく。

(2) 「自分ならどう考えるか」と主体的に考察していく力

疑問を感じた情報を, 自らの課題としてとらえていく。

(3) 「自分の考えを伝える, 他人の考えを聞く」という表現力と対話力

自分の考えをまとめながら具体的な言葉でアウトプットするとともに, 他人の考えを聞くことで, より一層自分の学びを深めていく。

また, 教師もN I Eを活用した取組を推進していく中で, より実践力を高めることを期待したい。また, 生活に関わりある情報を授業に盛り込むことで地域社会と学校の結びつきを強化することもできると考える。

3 本年度実践の概要

(1) 実践プロジェクトについて

本年度はN I Eの実践を, 以下の3つのプロジェクトとして設定した。

①「プロジェクトA ; 日替わり！日直記事紹介」

②「プロジェクトB ; 日替わり！NIE コーナー」

③「プロジェクトC ; N I E公開授業」

これらのプロジェクトを達成するために次のように推進計画を立案した。

(2) プロジェクト推進計画

日時	主な実践内容
6/11(火)	全校朝会でN I Eについて全校生徒に説明 指導者：大江山中学校教諭 西 伸之 先生
7/30(火)	校内職員研修 県N I Eアドバイザー：東新潟中学校校長 津野庄一郎 先生
9/2(月)	新聞購読開始（各学級） ※プロジェクトA；日替わり！日直記事紹介（各学級）
9/17(火)	新聞記者によるプレゼンテーション「新聞の読み方」 指導者：新潟日報社記者 川上あすか 様
12/11(火)	※プロジェクトC；N I E公開授業 指導者：県N I Eアドバイザー 佐藤宏欣 先生
通 年	※プロジェクトB；日替わり！NIE コーナー 担当：大江山中学校司書 伊藤百合香 先生

(3) 実践内容について

①「プロジェクトA；日替わり！日直記事紹介」

下のように各社新聞記事をローテーションしながら学級に設置した。

期間／学級	1－1	1－2	2－1	2－2	3－1	3－2
9月1日～	産経	日報	読売	毎日	朝日	日経
9月22日～	日報	読売	毎日	朝日	日経	産経
10月13日～	読売	毎日	朝日	日経	産経	日報
11月3日～	毎日	朝日	日経	産経	日報	読売
11月24日～	朝日	日経	産経	日報	読売	毎日
12月15日～	日経	産経	日報	読売	毎日	朝日

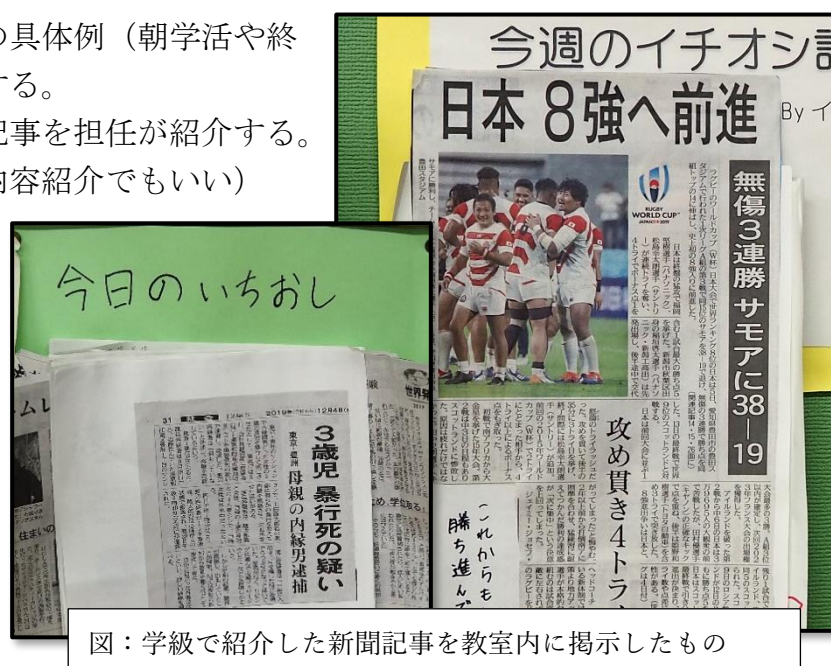
毎日学級での新聞活用の具体例（朝学活や終学活を使って）を紹介する。

ア 興味を引きそうな記事を担任が紹介する。

（見出しや、簡単な内容紹介でもいい）

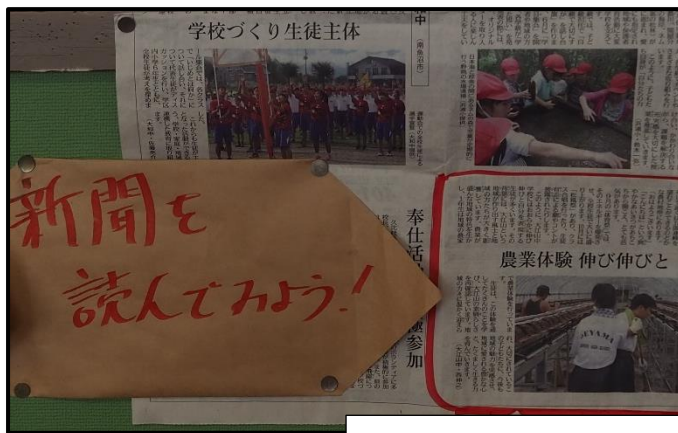
イ 日直が、興味関心をもった記事を紹介する。

ウ 掲示係が、各新聞の固定連載や中学生の投書・おもしろい写真などを切り貼りし、教室に掲示する。



図：学級で紹介した新聞記事を教室に掲示したもの

- ②「プロジェクトB；日替わり！NIEコーナー」
学校司書が「気になる新聞記事」を全校生徒が見やすい廊下壁に掲載し、毎日更新する。



図：学校廊下に掲示されている図書館司書による記事紹介

4 実践例「プロジェクトC；NIE公開授業」

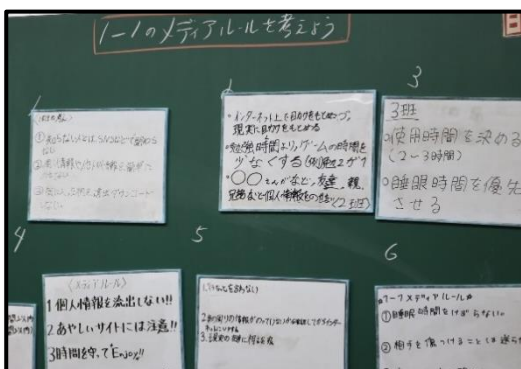
(1) 1年1組 岩崎亜矢子 教諭

学活「メディアルールについて考えよう」

- ① 目標 大江山中学校のメディアルールが3つあるが、意識して生活している生徒はそう多くない実態がある。そこで新聞記事を読み、新たにメディアルールをクラスバージョンで考え、生活を見直すきっかけとしたい。
- ② 使用記事 新潟日報 スマホ没収、銃弾で脅す(11/25)
 女児の悩み誘拐に利用か(11/26)
 ゲーム障害 初の実態調査(11/28)
 朝日新聞 君の瞳に映るのは…SNS投稿ご注意(11/27)

③ 内容

大江山中学校には生徒会で定めた「メディアルール」がある。そこで「どうしたら自分たちがそのメディアルールを意識して生活できるだろうか」を課題として授業を展開した。生徒は4つの記事を読み、メディアと言っても、ゲーム、スマホ、テレビなど様々なものがあること、SNSで知らない人に相談して被害にあった人がいること、ゲームより、ゲーム障害が生じることを知った。その後、グループでメディアルールについて考えなおす活動を通して、意識を高めた。



図：自分たちで話し合ったメディアルール



(2) 1年2組 齋藤慶太 教諭

学活「高齢者の事故について考える」

① 目標

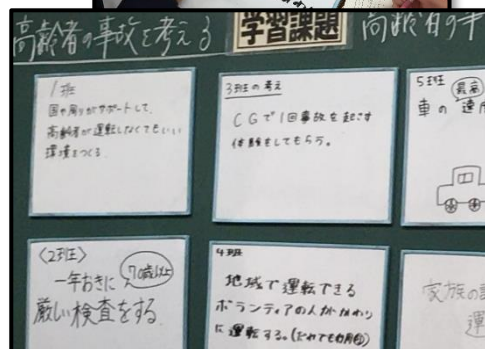
- ・資料から死亡事故件数のうち75歳以上の死亡割合が増加していることやその原因、問題点を読み取ることができる。
- ・高齢者の事故を減らす方法を、班で協力しながら考えることができる。

② 使用記事 朝日新聞朝刊「関越で逆走 80歳死亡」

読売新聞中高生新聞 「高齢者の事故 減らすには？」

③ 内容

高齢者の逆走による死亡事故の記事と交通死亡事故における高齢者の増加の記事を読み、高齢者(特に75歳以上)の交通事故死亡件数が増加していること知った。生徒は社会問題として課題をとらえ、グループ活動を通して、記事を読み込み、その原因や問題点を探った。次に、高齢者の死亡事故を減らすためにはどのような対策が必要かを考え、意見をまとめていった。全体で発表し合い、他生徒の考えを共有した後「もし自分の祖父や祖母が車を運転する立場であれば、自分はどのようにアドバイスをするか」を考える活動を通して、自らの課題として捉え、主体的に考察した。



図：新聞記事で得た知識をもとに話し合って考えた、高齢者の事故を減らすための工夫

(3) 2年1組 塩田祐子 教諭

家庭「よりよい食生活をめざして (マグロ枠 300 トン譲り受け)」

① 目標 日本人が好むと言われているマグロに着目し、日本を取り巻く食料資源の現状を知る。

② 使用記事 読売新聞 マグロ枠 300 トン譲り受け

③ 内容 (9/8)

食料自給率について知っていることを出し合い、課題に対する関心を深めた。その後「マグロ枠 300 トン譲り受け」の新聞記事からわかることや、疑問に思ったことを班で相談し、黒板にどんどん書き込んでいった。多くの疑問が生まれ「なぜそうなるのか」を意識する中でグループ学習を進め、記事に関連付けながら探っていく活動を通して、日本を取り巻く食料事情(水産資源)についての理解を深めていった。



図：グループで食糧事情について話し合い活動をしている様子

(4) 2年2組 斎藤敬幸 教諭

英語「英語で記事を読みとろう」

① 目標 最近の出来事についての新聞記事を英語で読み取りまとめることができる。

② 使用記事 読売中高生新聞 読売新聞 新潟日報

③ 内容

比較的生徒の記憶に残っていそうな、新元号令和、ラグビーワールドカップ、新天皇即位パレード、ピクトグラム、首里城焼失の記事をグループ毎に振り分け、英字新聞を使って読み取らせた。生徒は記事を見ながら穴埋め式のワークシートを使い、辞書で調べたりグループで相談したりしながら英文和訳を進めた。途中で読み取り作業が行き詰まった頃に、ヒントとなる他の新聞記事を提示（日本語）し、それを元に生徒はさらに考えを深めていった。最後に記事に対するグループのまとめを発表する活動を通して、生徒は「自分の考えを伝える、他人の考えを聞く」表現力・対話力を鍛えることができた。



図：グループで協力しながら英字新聞を読む

(5) 3年1組 長谷川聡 教諭

理科「地球と宇宙（季節の変化，1年の日の出・日の入りの変化）」

① 目標 日の出と日の入りの時刻が変化することを知るとともに，その理由が，地球の公転と地軸の傾きによるものであることを理解する。

② 使用記事 新潟日報，数ヶ月間にわたっての「日の出・日の入等のデータ欄」

③ 内容

季節の変化はなぜ起こるのかという課題設定から，昼と夜の時間が違うことや太陽の高度，日の出・日の入りの時刻の違いについて考えた。朝刊から，今日の日の出・日の入りの時刻を調べ，9月からの新聞のデータをもとに，日の出と日の入りの時刻の変化をグラフに



図：日の出日の入りのデータを黒板で確認し合う様子

表した。生徒はグラフ作成を通して，夏は日が長く，冬は日が短いことを理解していった。日の長さの違いが生じるのは，地球は地軸を傾けながら公転しているからである，と



いうことを学んだ。

(6) 3年2組 小林伸子 教諭

国語「新聞の記事を要約する」

- ① 目標 記事を読み、反論を考える活動を通して、課題を理解し、問題点を整理し、反論する力を養う。
- ② 使用記事 論理的に反対意見を考えられる記事（社説やコラム、投稿文など）
- ③ 内容

記事を読ませ、反対意見を考えさせることによって、見えない部分を「見える化」する。根拠を周到に準備し、新聞の主張を論破させる。

「人生における正解が欲しい」という投稿記事を使用して、反対意見を考えた。筆者が主張する理由を読み取り、自分がそうではないと思う考えをまとめた。次にグループで「東京五輪のマラソン競技を札幌開催とする」記事について、対話を進めていった。反論を考える



ことによって、主体的に課題をもつ生徒が多く、深まりのある内容であった。最後に各班の考えを全体で共有した。「情報を整理し、根拠を整理し、論点を考える力」が身に付く授業となった。

者が主張する理由を読み取り、自分がそうではないと思う考えをまとめた。次にグループで「東京五輪のマラソン競技を札幌開催とする」記事について、対話を進めていった。反論を考える



図：主体的に考えた反論を共有し合う様子

5 成果とこれから

3つのプロジェクトの内、『プロジェクトA；日替わり！日直記事紹介』『プロジェクトB；日替わり！NIEコーナー』の取組により、新聞記事に目を向ける「意識付け」を行うことで、生徒は日々の情報から、自然に様々な考察を行うようになった。

また『プロジェクトC；NIE公開授業』においては、自ら課題を見出し、追究する生徒の姿をみることができた。職員研修も充実し、NIEを活用することへの意識が高まっている。本年度の実践は、二年目となる来年度本実践に繋がる実りの多いものとなった。



図：職員研修も熱を帯びていた

(林 良平)